

平成 21 年度 第 102 回 教育研究審議会議事要録

日時 平成 21 年 7 月 7 日 (火) 13:30 ~ 14:25
場所 北方キャンパス本館 E701 会議室
出席者 矢田学長、近藤副学長、中野副学長、尾上事務局長、伊藤外国語学部長、白石経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、梶原国際環境工学部長、漆原基盤教育センター長、横山社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、晴山都市政策研究所長、田村(慶)学術情報総合センター長、田部井学生部長、二宮教務部長、木原国際教育交流センター長、田村(大)入試広報センター長、隈本学術情報総合センター副センター長、上江洲地域貢献室副室長

配布資料

- 1 教員採用申請書(基盤教育センター)、欠員補充申請書(基盤教育センター)
- 2 特任研究員の選考について(国際環境工学部)
- 3 再任審査報告書(社会システム研究科)
- 4 第 2 期中期計画検討プロジェクト(修正案)
- 5 平成 21 年度進路指導担当者懇談会実施報告
- 6 OPEN CAMPUS 2009 キタキュー大 0 年生になろう!!
- 7 北九州市立大学外国人留学生後援会へのご賛助のお願い
- 8 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

第 1 号 教員の採用について

* 資料 1 のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、異文化言語(英語)教育担当教員 1 名の採用について提案。

第 99 回教育研究審議会において、異文化言語(英語)教育担当教員 1 ~ 2 名の採用申請について承認いただき、学内公募を行ったが、応募者がいなかったため、このうち 1 名をグローバル公募に切り替えるものである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料 1 のとおり、基盤教育センターからの申請に基づき、平成 20 年 3 月 31 日付けで退職した国武豊喜教授の後任として、環境倫理学もしくは環境社会学の担当教員 1 名の欠員補充について提案。

担当科目が、「もしくは」の表記により、必ず担当していただくのか、どちらか一方を担当いただくのか分かりにくい。

「哲学と倫理」「文明社会」のどちらか 1 科目と、「環境問題事例研究」「入門ゼミ」「卒業研究」の 3 科目が必ず担当いただく科目である。公募要領を作成する際は、誤解の生じないよう分かりやすい表記としたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第 2 号 特任研究員の選考について

* 資料 2 のとおり、特任講師 1 名の選考について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第3号 教員の再任審査について

* 資料3のとおり、平成22年3月31日付で任期満了となる任期制教員のうち、社会システム研究科教員2名について再任審査委員会から再任審査報告がなされ、同報告に基づき両名の再任を提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

第4号 第2期中期計画検討プロジェクト修正案について

* 資料4のとおり、第101回教育研究審議会で承認された第2期中期計画検討プロジェクトの修正案について提案。

前回の教育研究審議会で一旦承認した案件だが、その時の意見やその後寄せられた意見から、再度検討した。次期中期計画の出だしのところで異論があっては良い計画はできないと判断し、改めて修正案を提案した。

骨格は前回と変わらないが、

「部局検討グループ」を「部局検討委員会」に替え、部局から出された提案を整理しまとめる事実上の部局長会議とした。

「全学組織検討グループ」を「全学組織検討委員会」とした。

「管理運営検討グループ」を、前の2つの委員会でカバーできない事務局体制やキャンパス整備等の部分の提案をまとめる「管理運営検討委員会」とした。

「草案作成委員会」を、評価室長と副室長経験者、経営企画課を中心に国際環境工学部の視点も加えたコンパクトな体制とした。

4つの委員会の間で情報交換を適宜行いながら、素案を策定していく。

前回の案では、要綱上、草案作成委員会の決定は多数決によるとされていたが、修正案ではどうなるのか。教育研究審議会で最終的に決定していくため、各委員会において多数決による決定は必要ないと考えている。

全学組織検討委員会での議論は、北方キャンパスとひびきのキャンパス間の調整まで及んでくるが、構成員はこのままでよいのか。

国際環境工学部では、全学的な視点も踏まえ幅広く議論してもらい、その上で、両キャンパス間のすり合わせをする機会を設けていきたい。

今回、要綱の修正案は提案していないが、承認いただければ、各委員に要綱の修正案をお送りする。修正意見が出れば、次回の教育研究審議会で提案する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

報告

平成21年度進路指導担当者懇談会実施報告について、資料5のとおり報告があった。

平成21年度夏季オープンキャンパスの実施について、資料6のとおり報告があった。

外国人留学生後援会の賛助のお願いについて、資料7のとおり報告があった。

教員の海外出張について、資料8のとおり報告があった。

次回の審議会を7月28日(火)に開催する予定である旨、報告があった。